

NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2016年10月21日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォーム：

[TOP](#)> [共同・受託研究](#)> [申込書／契約書](#)> [本学研究シーズの利活用の申込み](#)> [WEB](#) から

出願番号 整理番号 担当者

| | | | |
|-------|---|-------|--|
| 表題 | 危険度算出装置 | | |
| 発明の概要 | <p>・バイクなどの二輪車が事故に遭った際に、車体の損傷度から運転者の重症度を自動算出し、運転者に代わり自動通報するシステム</p> <p>自動車（四輪車）の事故における安全対策に比して、二輪車乗員を早期救済するため傷害予測アルゴリズムは諸外国を含めて開発されていないため、二輪車事故として最も多い事故類型である二輪車対四輪車事故での二輪車乗員を対象に、二輪車乗員の傷害予測アルゴリズムを構築した。</p> <p>公的機関が保有する二輪車事故データを基に、事故時の二輪車や相手四輪車の情報から二輪車乗員が重傷（死亡を含む）となる確率を算出した。その算出値により傷害程度を予測する機能を二輪車に搭載すれば、先行して開発が進んでいる四輪車の情報と組み合わせることにより正確に二輪車乗員の傷害を予測することが可能となる。今回開発した機能を二輪車へ搭載すると、1) 事故発生の覚知時間の短縮、2) 重傷と予測された場合には早期にドクターヘリやドクターカーにより医師の現場派遣をすること、3) 乗員数とそれぞれの乗員の重傷リスクの予測、4) 同時発生した複数の事故では被害の大きさに応じた救命の優先順位の判定が可能となる</p> | | |
| 発明の効果 | <p>二輪車事故が起こった際、運転者が重症で自ら通報できない際、二輪車が自動的に通報を行い、救急車あるいは救急ヘリが到着する。</p> <p>重傷者は心臓停止の場合は3分、呼吸停止の場合は10分でその半数の負傷者が死亡するといわれている。したがって、二輪車事故が発生した場合には、1分1秒でも早く事故情報を通報し、本研究で構築した傷害予測アルゴリズムにより重傷または重篤と判断される場合には救急車やドクターヘリを急行させ、高度な治療ができる3次医療機関へ搬送できる二輪車安全のためのシステムが必要である。このような事故通報システムの実現には、今回開発した二輪車乗員用の傷害予測アルゴリズムが不可欠である。</p> | | |
| 技術分野 | 輸送 | 情報・通信 | |



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL : 03-5275-8139 FAX : 03-5275-8328 E-mail : nubic@nihon-u.ac.jp